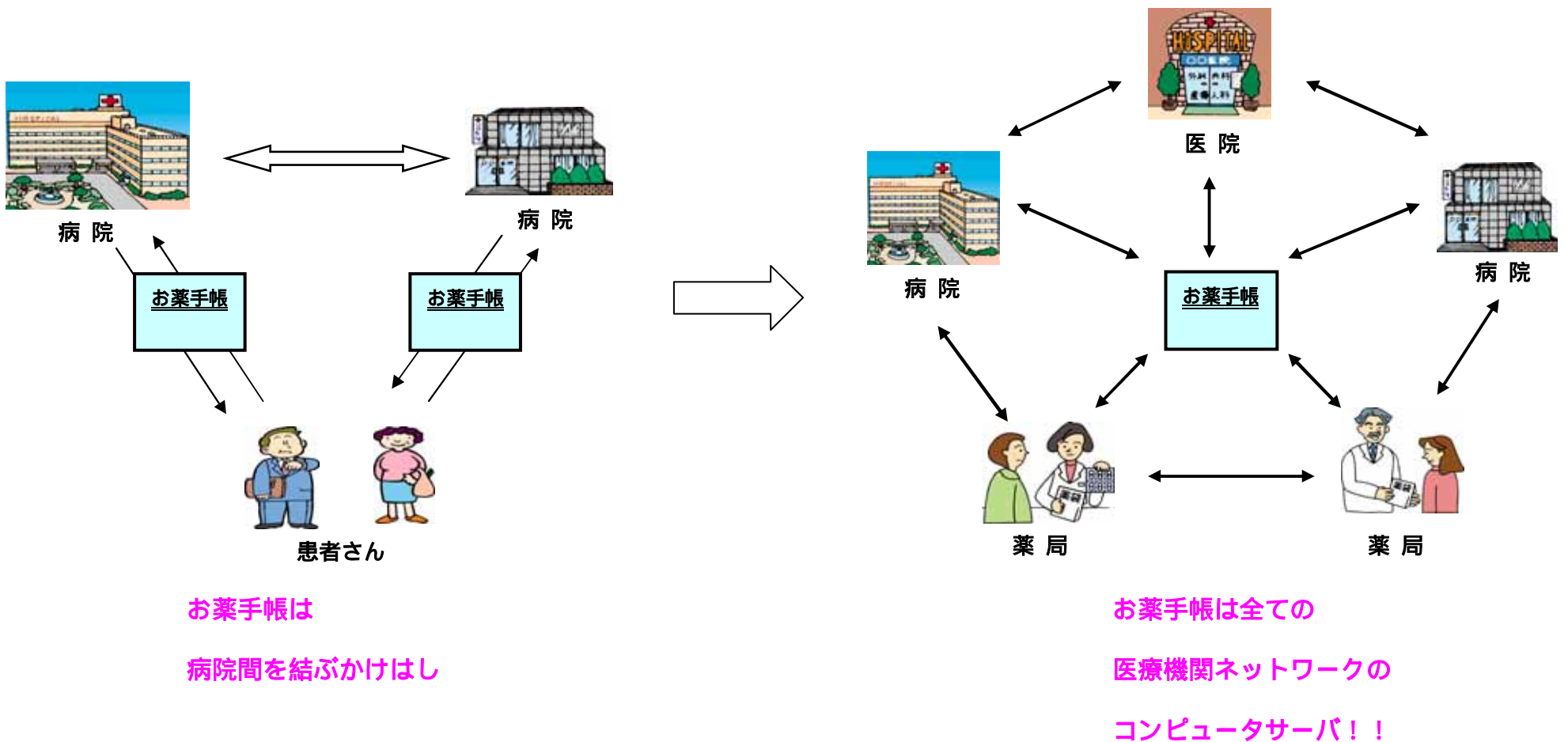


『お薬手帳』活用していますか？

* お薬手帳はなぜ必要なのでしょう？ ~あなた個人の医療機関のトータルカルテ

例えば、「いつも内科で血圧の薬をもらっているが、今日は風邪を引いたので耳鼻科にきた。」というように、患者さんは1つの病院だけでなく、症状によって複数の病院で診てもらい、お薬を服用すると思います。『お薬手帳』には、今まで服用したお薬の記録（歴史）が書いてあります。常に医師や薬剤師は、薬の飲みあわせや同じ様な効果の薬が重なっていないかをチェックし、安全に服用してもらうことに心がけています。現在使われているお薬は、約14,000種類もありそれぞれのお薬には、「ある薬と一緒に飲んではいけない」「ある病気をしている方には使ってはいけない」などの注意があります。そこで、『お薬手帳』を持っていれば、現在服用中の薬が正確に医師や薬剤師に伝えることが可能になり、安心してお薬を服用できるようになります。このように患者さんが自ら医院や薬局間の情報の共有化に参加していただくことにより、総合的な治療が実現されるのです。又、外出時に急な事故にあった時など、この手帳を携帯することで、いつも服用している薬の内容がわかり、医療機関による救急救命処置が円滑に行ないやすくなります。



* お薬手帳は必ず1冊だけにしましょう！

A薬局で薬をもらうときはこの手帳、B薬局で薬をもらうときはこの手帳というように薬局や病院ごとにお薬手帳を使い分けてしまうと、全ての手帳をチェックしないと、見逃す場合もでてきてしまいます。お薬手帳はどの薬局でも使えるものですから、必ず1冊の手帳に記入してもらってください。

* 先生に言い忘れたことはありませんか？ ~自分で書き込んでみましょう！！

患者さんご自身でも薬局で市販の薬を買って飲んだ場合などは書き込みをしましょう。書き込んであれば、本日の薬と一緒に飲んでよいかチェックできます。また、忘れないうちに体調変化などを記入していただければ副作用の発見につながることもあります。副作用を起こしたことがあるお薬の名前は必ず書き込んでおいてください。書き込みを行うことにより、患者さんも自ら医療に参加することになります。

* 毎回記入してもらいましょう！

出ているお薬の内容がいつも同じでも、毎回記入してもらいましょう。お薬手帳を毎回記入しておけば、あなたの薬歴にもなるのです。

* 大切に保管しましょう！

ご不明な点がありましたら、お気軽にご相談ください。

